



とことん、ほんもの。

五感をひらく。未来をひらく。

NAGISAKOEN

SCHOOL GUIDE 2027



〒731-5138 広島市佐伯区海老山南2丁目2-30
TEL:082-943-0001 FAX:082-943-0004



website



instagram



NAGISA KOEN ELEMENTARY SCHOOL

Educational Philosophy

建学の精神

教育は愛なり

鶴 虎太郎の教育精神を表したこの言葉を、建学の精神として定め継承してきました。児童・生徒・学生を心から愛し、愛にもとづく教育をされ、愛を教育の本質とされた校祖の教育の精神を永遠の目標とし、その原点を見失わないよう、私たちはこれからも教育に取り組んでいきます。

Educational Policy

教育方針

常に神と共に歩み社会に奉仕する

人格の完成を目指し、心身ともに健康にして己を制御し、「常に神と共に歩み社会に奉仕する」人間の育成が、鶴学園の教育方針です。さまざまな問題が山積し、教育の真価が問われようとしている今こそ、私たちは、この教育方針を堅持し、社会に貢献できる教育を展開していきます。

とことん、ほんもの。

いろんな生き方が肯定される新時代、
子どもたちの個性と可能性を最大限、広げるために。

音楽をはじめオリジナル教科でふるえる心を表現する。
手づくりピオトープの自然体験で発見力を養う。
平和や広島・世界について協同学習で見つめなおす。

根っこにあるのは、
“学びたい”をデザインしたい、という気持ち。

教員ひとりひとりが創造性をもって各教科を捉えなおし、
子どもたち自らが新しい学びをつくりだすよう刺激する。
それが私たちの考えるほんものの学び。

とことん、ほんものを伝えよう。ほんものを贈ろう。
そこから子どもたちの五感はひらかれ、未来はひらかれる。

なぎさ公園小学校はそう信じています。

次世代を担う
子どもたちのために。

Message

教育の原点

鶴学園は、現在、小学校から大学まで6つの学校を擁し、それぞれが次世代を担う健全な精神と英知を身につけた青少年の育成に励んでいます。なぎさ公園小学校は2003年4月の設立以来、全教職員が子ども一人ひとりと向き合い、私学ならではの特色ある教育を展開してきました。子どもたちの未来を見据え、常に何が必要かを考えながら教育に取り組んでいます。その根底にあるのは、校祖・鶴虎太郎から受け継がれてきた熱い思い=愛の精神です。

【建学の精神】教育は愛なり

鶴学園の校祖・鶴虎太郎の教育精神を表した「教育は愛なり」。校祖は児童、生徒、学生を心から愛し、愛を教育の本質として貫きました。その遺志を受け継ぎ、永遠の目標として、私たちはその原点を見失わないよう真摯に教育に取り組んでいます。

【教育方針】常に神と共に歩み社会に奉仕する

鶴学園の創立者・鶴裏の教育理念「常に神と共に歩み社会に奉仕する」。常に感謝の気持ちを忘れず、学校で学んだ知識と鍛錬された身体と陶冶された人格をもって世の中の人々に奉仕する人材の育成を目指しています。

学校法人鶴学園 理事長・総長 鶴 衛

なぎさ Style

子どもたちの力を引き出す「なぎさstyle」を実践していきます。

なぎさ
styleの
4つの柱

style 1

21世紀型 「高学力」を育てたい

確かな基礎学力と時代が求める
新しい資質・学力の土台を築く。

▶ 5ページ

style 2

グローバル
生活人を育てたい

コミュニケーション&自己表現力、
豊かな国際感覚を育む。

▶ 9ページ

style 3

ふるえる心(感性)を
育てたい

豊かな創造力、表現力、
しなやかな感性を養う。

▶ 13ページ

style 4

たくましい
リーダーを育てたい

協調性やフェアプレー精神、
集団行動のルールを身につける。

▶ 17ページ

自らの力で、人生・未来を
切り拓いていける力を育成したい。

本校の設定教科・科目と4つの柱を反映した学習形態（令和8年度）

*展開ゾーンは色分けし表現しています。

学習指導 要領分類	国語		社会	算数	理科	生活	家庭	特別 活動	外国語 活動	外国 語	総合的な 学習の時間	特別の教科 道徳	音楽	図画 工作	体育			
本校 設定教科	国語 ■ ものがたり		社会	算数	理科	不思議	自然・生活・PC	学級・マイプロ 委員会		英語		にんげん	音楽	絵画造形	体育	みちくさ	身体表現	冒険遊び
	にほんご	おはなし				読書												
	■	■	■	■	■	■	■	■		■		■	■	■	■	■	■	■

プロジェクト学習

一つの事柄・テーマを各教科の視点で捉え、複数教科を横断して展開する。
子どもたちの考察や理解を点から線へ、線から面へと自ら広げていく発展的多面的学習。



NAGISA
style

- ・たくましいリーダーの育成
- ・ふるえる心(感性)の育成
- ・グローバル生活人育成
- ・21世紀型「高学力」の育成

Message

「とことん、ほんもの。」

開校以来私たちがこだわってきた教育がこの言葉に集約されていると言っても過言ではありません。

天然の芝生の上を裸足で駆け、大地からのエネルギーを足の裏から吸収してからだ全体で躍動する。多様な生き物が生息するピオトープで、小さな生き物が住む世界を想像し共生することを学び、大小様々な世界が自分たちとつながっていることを理解する。緑豊かな校内で四季を感じながら自然を日常生活の中で身近なものとして過ごす。将来の基盤となる発達段階の児童期において、あそびを中心とした原体験を通して知識や体験によって培われた知恵を身につける環境が本校にはあります。そうやって身につけた知恵が未来の扉を拓き、そして新しい時代を生きる術となります。

なぎさ公園小学校のパーパスである「とことん、ほんもの。』は、4つの教育の柱で表された「なぎさstyle」そのものです。創造力を持って生きるこれからの時代に必要な基礎学力と資質を身につける『21世紀型「高学力」』。国境を越えて、共生、協働、協創といった多様性を身につける『グローバル生活人』。本来備わっている五感を磨き、豊かな感性を育む『ふるえる心(感性)』。従来のたて型ではなく、プロジェクト的な連携のよこ型チームをまとめられる対人関係能力を持つ『たくましいリーダー』。

開校以来ずっとこだわってきた独自の特色教育は、まだまだ時代とともに進化(深化)し、発展してまいります。なごさっ子たちが、未来のパイオニア(開拓者)となるよう、自らの知恵と知識、そして行動で常に時代を切り拓いていく人となるための教育に邁進してまいります。

常に本物に触れ学ぶ、「とことん、ほんもの。」にこだわって実践しているなぎさ公園小学校の教育にぜひ触れていただければと思います。

なぎさ公園小学校 学校長 上野 和之

「高学力」を 育てたい 21世紀型

不思議 Wonder

理科・社会へと
興味を持つ入り口です。

「なんでだろう?」「どうしたらいいんだろう?」
「わかった!」という自分自身の心が
主体的に動いてこそ、
知識を知恵へと進化させることができます。
まず好奇心を引き出すきっかけづくり、
不思議の学習でたくさん体験できます。



不思議がいっぱい。
楽しいがとまらない。

不思議 青

マナー向上体験学習

通学の事故を防ぎ、安全で安心して登下校ができるように、マナーやルールを体験的に学びます。自分の命を守るために、交通ルールの厳守やマナーの向上がとても大切であることに気づきます。



せかいのふしぎ

世界中の「へ〜っ!」がもりだくさんです。低学年から世界地図を使って世界の国や地域の衣食住などくらしのふしぎや国旗のふしぎを学習します。差別や偏見は「知らない」ことから生まれます。多様性について、深く考えるきっかけをつくります。



レベルアップ!

社会 Society

家族から世界まで気になるテーマがいっぱいです。

3年生より「自分・家族・友だち」という取り組みやすいテーマから開始。課題を見つけ、解決するために友だちの意見を聞き、自分の考えをまとめ、発表まで行います。身近なテーマから「地域・国・世界」へと展開していくプログラム構成です。対話型学習を通して、社会参画するための資質を育みます。



広島県の市や町の広報活動を考えよう

「広島各地の名産品や特色を紹介するにはどうしたらよいか」をテーマに、担当する市や町を決めて地域の特色を調べます。特産品や紹介したい観光名所などを挙げて表現することで、自分たちが住む広島県を多角的に捉えます。



不思議 緑



教材園学習

米や野菜を栽培する教材園で体験学習。収穫した作物は「わ食弁当」の日に調理したり、授業で試食したりします。



干潟学習

野外学習には、鳥や魚介類などの専門家の方たちがボランティアで帯同。生き物の生態など、不思議なお話に子どもたちの目が輝きます。



ビオトープ学習

生き物の住処で新しい出会いが! 命が宿るビオトープは感動の宝庫です。

レベルアップ!

理科 Science

科学的に思考する力を育てます。

予想→実験→観察→結果→考察という組み立てで思考する習慣を身につけます。この思考する力は、中学高校と学ぶ上で必要とされるものです。これまで気づかなかった現象に興味を持ち、その謎を解くおもしろさを実感できる授業を展開します。



観察

色・形・大きさ・動きなどを観察。「ワークシート」に記入し、その情報はグループで共有する協同学習へと広がります。さらに文献調査を行い、表にまとめ整理。疑問に仮説を立てさらに観察を継続します。研究者のような課題への取り組み方です。





夢中で追いかける先に
本当の学びがある。



21世紀型「高学力」を育てたい

国語

japanese language

「にほんご」は、学びの基本。全教科の理解につながります。

読む、書く、話すことは心の成長を助けます。美しい「にほんご」をたくさん知り、コミュニケーションの大切さを理解する貴重な時間となります。



にほんご

japanese

協働学習で 論理的な思考力と表現力を磨く

学習する目的は、知識を蓄えることではなく、知識を実生活に活かせるようになることです。グループでの協働学習を通して、書く、話す、発表するといったアウトプットの力が自然と身につきます。



ものがたり

story

読む

「ものがたり」の授業
～おはなしおはなし～



読書力を養う授業です。低学年では教室を離れ、図書室の畳スペースや芝生の上で絵本や物語の世界を楽しみます。創作や演劇活動へと発展させることが目標です。

書く

書く力を高める
作文指導



材料の準備から構成、表現の工夫などスキルを身につける時間です。様々な意見を聞き、創作をよりレベルアップする練習を行います。

話す

プレゼン力が、
どんどん向上!



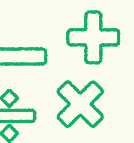
これからの時代に必要とされる論理的に考え、相手に伝える能力。国語を始め各教科で表現の場を設けてプレゼン力を鍛えており、高い効果をあげています。

算数

arithmetic

身近な遊びや生活の中に数理がいっぱい。

確かな計算力、問題解決への粘り強さ、解へ導く発想の豊かさなど、優れた数学的思考感覚は、必要となるスキル。しっかりと身につけるために、協働学習以外にもスパイラル方式（繰り返し学習）のテキストや自分で考える力を鍛えるオリジナル問題集でフォローします。



..... 児童主導型の学習で自分で考え行動する力を養う



パターンプロックの図形授業

鋭利な算数感覚と造形創造力を養います。目から入る情報を素早く感覚的につかむ能力は、低学年のうちから身につけることが不可欠です。



ICTツールの活用で授業が進化

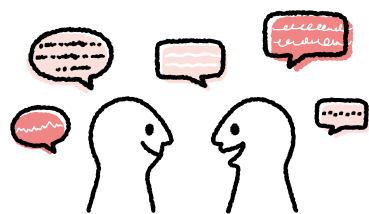
タブレット端末などICTツールで、意見を出し合うグループ単位の協同学習から効果的な予習・復習まで、スムーズに実践。オンライン学習システムGoogle Classroomなどで個々の理解度に合わせて授業を進めるので「わかった!」と子どもたちは笑顔になります。



木製積み木の授業

自然にその発見を楽しむことで積み木遊びは、数学的思考の一步として取り入れています。

グローバル 生活人を育てたい



世界とつながる
喜びを知る。

英語 English

生活に根差した「生きた英語」を子どもたちに届けたい。

英語は今や、世界の様々な文化・暮らしの中で互いに理解し合い、共生していくための必要不可欠なツールです。

本校では授業以外にも学校生活の中に学びの機会がたくさんあります。楽しみながら、そしてワクワク心を躍らせながら英語に親しむことを基本としています。

A B C D E



Phonics 学習

英語圏の子どもたちと同じように、本校では英語の基盤となる「フォニックス学習」を1年生から始めています。この学習を通してアルファベットのもつ音や音の組み合わせが理解できるようになると、初めて出会う単語もスムーズに発音することができるため、自信をもって英語を使えるようになります。

話す

Speak



インタビューやペアワークを通して、スキルアップを目指します。

聞く

Listen



ネイティブ教師との会話も全て英語中心で、聞く力を育てます。

読む

Read



初めて出会う英語も「フォニックス学習」でスムーズに発音できます。

書く

Write



アルファベットを正しい書き順にそって書くことから始めます。



「英語が好き!」の
きっかけがたくさん。
いろいろなものに出会ってみよう。



グローバル生活人を育てたい

イングリッシュウィーク English week



毎年2週間にわたって行われる英語があふれる学校生活。期間中は、特に英語放送が関心の的、ゲストに英語でインタビューをしたり、クイズをしたりと楽しさいっぱい。先生による英語絵本の読み聞かせは毎年趣向を凝らして展開しています。

ピースウォーク Peace walk



英語&にんげんのプロジェクト学習で英語を使ってフィールドワーク体験をします。グループで平和公園を訪問している外国の人たちへ英語でインタビューにチャレンジ。

遊びの世界旅行 World travel of play



楽しみながら世界にふれる学習です。遊びはどの国も世界共通。低学年が世界各国の遊びを通して、異文化理解・交流に取り組みます。

5・6年生対象

レシテーションコンテスト Recitation contest



5・6年生の代表児童が物語を英語で暗唱します。発音練習だけでなく、物語に沿ったジェスチャーを取り入れ、表現力を競います。

5・6年生対象

異文化体験プログラム Cross-cultural experience program



海外の小学校と連携して異文化体験プログラムを実施。台湾ではGVS(Global Village for Students:課題解決型学習)Programで英語のスキルアップを図ります。外国人留学生と英語でコミュニケーションをとりながら、台湾の町を探索します。台湾やニュージーランドでリアルな外国の暮らしを体験することで、帰国後子どもたちの学ぶ意欲が高まります。またイングリッシュキャンプでは、本校の英語教師を中心に学内で英語プログラムを展開し、英語づけのデイキャンプを実施しています。



in New Zealand
異文化体験(ニュージーランド)



in Taiwan
異文化体験(台湾)



in Nagisa
イングリッシュキャンプ

（感性）を育てたい ふるえる心



「てつがく対話」で
心の声に耳を澄ます。

にんげん Ningen

「対話」を通して、多様な価値観に触れ、考えを深める

「自他を共に尊重する力」「共に生きる力」「思いを伝え、受け入れる力」を高めるなぎさ独自の授業。色々なグループでの対話によって、子どもたち一人ひとりが多様な考え方や感じ方を受け入れ、自分の価値観を問い直し、考え続けていく力を育んでいく「てつがく対話」。本を活用して対話する「読書会」。様々なワークショップ（国際理解教育・地球市民教育）。多様な授業スタイルで展開しています。



授業・活動風景

…………… なぎさ独自の授業「にんげん」 ……………

仲間と共に行う活動の中で、相互理解力や自己表現力を育みます。



…………… 「てつがく対話」「読書会」 ……………

4人、12人、18人など、問いによって異なる人数のグループで集まり、友だちと自分の考えを伝え合います。



それぞれのグループで出た意見をクラス全体でシェアし、様々な価値観に触れていきます。



パイプオルガンの内部へ。
本物の仕組みが、
感性を揺さぶる。



ふるえる心（感性）を育てたい

音楽

music

合唱で歌が溢れる学校へ

子どもたちの「音に対する感覚」を養います。「サウンド・エデュケーション」のワークショップを導入。自然の中の音、人が発する音、心地よい音、美しい音など、心と体で音を感じる授業を展開します。

なぎさ
3大行事
音楽会



絵画造形

painting modeling

「これが好き！」創造の楽しさに出会えます。

低学年では不思議学習と連携し、干潟で観察した、生きものなどを描きます。生態や動きがわかると、びっくりするほど絵もいきいき！



身体表現

physical expression

表現する喜びを知る

自分の体をコントロールする力や他者とのつながり、調和を学びます。運動会の集団演技は目を見張るほどの成長ぶりです。



自然生活 PC

昔と現代を
つなぐ学び舎

自然・生活

nature and life

故きを温ねて、新しきを知る

子どもたちが過去と未来の両方に目を向け、自ら考え、行動できる人へと成長していきます。田んぼでの手作業による田植えや、畑で育てた作物を使った調理など、五感をくすぐる授業を通して子どものうちしか感じられない感性を刺激し、「豊かな心」を育てます。



PC

personal
computer

ICTに触れながら、プログラミング的思考力を身につけよう

本校では、1年生からiPadの活用をはじめ、学校生活の中に当たり前ICTを取り入れています。PCの授業では、ICTを通じた試行錯誤の体験から、プログラミング的思考力を磨いていきます。



たくましい
リーダーを育てたい

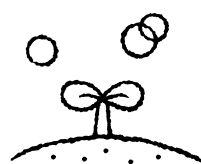


自然体験活動 Nature experience learning

未知の自然に出会い、小さな子どもたちが大きく変わります。

遊びを通した体験が非認知能力を育てる近道の一つ。

本校では、他の授業やみちくさ、冒険遊び、宿泊学習など、自然体験の学びのなかで生きる力の土台を育みます。



活動風景



1年生

なぎさ公園小学校での宿泊学習



2年生

沼田校舎での宿泊学習



3年生

八千代校舎での宿泊学習



4年生

「沢歩き」を中心としたサマーアドベンチャー



5年生

三瓶登山を中心としたミュージアム学習



6年生

6年間のしめくくりの修学旅行



みんなで
力を合わせて
やり抜く。

たくましいリーダーを育てたい

体育

physical education

「チャレンジ」&「ネバーギブアップ」

本校の体育教育には「体力づくり」「スポーツ・遊び体験」「集団行動」「冒険遊び」の4要素が混合する4種類の授業があります。体育の時間は身体のコントロール能力から、筋力、持久力など基礎体力の強化を図るとともに、人格形成上重要な「協力」「フェアプレー」「チャレンジ精神」などの内面のしなやかさを意識。心と身体のバランスを養成します。

みちくさ

exploration

1・2年生対象

自然環境を活かした遊び。

子どもにとって「群れ遊び」の時間と空間は柔軟な身体と心、さらに人間関係(仲間)の形成/衝突・混乱/修復のトレーニングの貴重な場でした。「みちくさ」は、本校と周辺の自然環境を活かし、野遊び、群れ遊び、伝承遊びを授業として1・2年生で展開するものです。草花の引っ張り相撲や、どんぐり笛、竹でっぽう、ケンケン相撲などで遊びます。遊びを通じて豊かな創造性、社会性、協調性、自主性、判断力などを養います。



冒険遊び

adventure

4～6年生対象

自分を発見! 問題解決能力を育てるNAP!

様々なアクティビティーを通じてより望ましい人間関係を育み、互いの協力によって達成感や充実感を実感していく「NAP(なぎさアドベンチャープログラム)」を用いた活動が中心です。本校の施設や沼田校舎の冒険の森を舞台に、土と木の温もりを感じる環境で自然遊具などを活用して展開します。ぶつかったり、対立したり、困難に対峙して自分を発見し、問題解決能力や信頼、助け合う心を育みます。



なぎさ 3大行事 運動会



なぎさ3大行事/

なぎさ祭

NAGISA festival

子どもたちは教科ごとの展示や英語の歌、けん玉、なわとびなど、一生懸命取り組んできた成果(1年間の成長)を披露します。達成感、充実感、そして人と人とのつながりを感じることができる感動のひとつです。子どもたちはこの日のために早くから準備に取り組み、みんなで協力してなぎさ祭を創りあげていきます。

服装について

子どもたちは指定の制服で登下校します。衣替えは原則6月1日と10月1日ですが、季節の変わり目は体調、天候によって各自で体温管理できる制服を組み合わせさせていただきます。また、本校では、姿勢や体の重心のバランスを良くするため、歩行・走行にかかる足への負担を軽減するためなど健康な身体づくりを推進するため、「ぞうり」を使用します。

Point

上品さが漂う

英国風のデザイン

冬服

Winter uniform

夏服

Summer uniform

冬用帽子
(1・2年生)



ハンチング帽子
(3～6年生)



ニットセーター



上履き



夏用帽子
(1・2年生)



ジャージ



ランドセル



ぞうり



ぞうりの使用期間は立夏(5月)から立冬(11月)の前日までです。



学内施設



- 01 グラウンド
- 02 中央棟パティオ(中庭)
- 03 中央棟オープンデッキ(屋上)
- 04 図書室
- 05 講堂(パイプオルガン)
- 06 体育館
- 07 プール
- 08 ピオトープ

1年間の流れ

二十四節気で季節がめぐり、表記以外にもさまざまなプログラムを展開しています。

4 April	清明 穀雨	●前期始業式 ●入学式 ●穀雨祭 ●集団下校指導・訓練 ●1年生を迎える会
5 May	立夏 小満	●ぞうり開始(立夏) ●児童総会 ●冒険遊び ●自然体験宿泊学習(2年)
6 June	芒種 夏至	●プール開き ●マナー体験学習 ●「わ食」弁当の日 ●芒種祭 ●修学旅行 ●ピースウォーク ●集団下校指導・訓練
7 July	小暑 大暑	●異文化体験ツアー(ニュージーランド) ●サマーアドベンチャー(沢歩き)(4年) ●夏休み
8 August	立秋 処暑	●集団下校指導・訓練 ●夏休み
9 September	白露 秋分	●マナーアップ月間 ●自然体験宿泊学習(1年) ●干潟観察
10 October	寒露 霜降	●運動会 ●前期終業式 ●秋休み ●異文化体験ツアー(台湾) ●後期始業式 ●イングリッシュキャンプ
11 November	立冬 小雪	●遊びの世界旅行 ●上靴期間開始(立冬) ●避難訓練 ●ミュージアム学習(5年) ●レシテーションコンテスト ●自然体験宿泊学習(3年)
12 December	大雪 冬至	●音楽会 ●「わ食」弁当の日 ●マナーアップ月間 ●English Week ●冬休み
1 January	小寒 大寒	●集団下校指導・訓練 ●避難訓練 ●野鳥観察 ●リーダーシアター
2 February	立春 雨水	●なぎさ祭(学習発表会) ●学園の歴史講話 ●学園創立記念日 ●6年生を送る会 ●マラソン大会
3 March	啓蟄 春分	●卒業式 ●学年修了式 ●春休み



1日の流れ

なぎさっ子の1日の流れをご紹介します。

7:35
▼
8:05



※授業は原則6時間(1単位45分)です。
※学年や曜日によって異なります。

登校

7時35分に校舎入口を開錠します。7時45分から8時10分は「からだの体操」の時間。グラウンドで遊べます。

8:10



クラスタイム・朝の会(健康観察)

なぎさっ子の1日は歌で始まります。全員で歌う歌は心を穏やかにし、朝の元気を養います。

8:30



午前の授業

本校では教科担任制を採用し、発達段階に応じた深い学びを目指しています。各授業の間には5分～10分のトイレ休憩があります。

10:10



大休憩

MAZDA ZOOM-ZOOMスタジアム広島にも使用されているティフトン芝の校庭はなぎさっ子たちの大好きな空間です。1年中青々とした芝の上で思い思いの時間を過ごします。

12:10



お弁当・昼休憩

待ちに待ったお弁当タイム。お弁当をご用意できない保護者のための注文システムもあります。

13:00



掃除

15分間の清掃タイムです。グループになって行います。

13:20



午後の授業

本校では毎日20分間のモジュールタイムを取り入れています。1・2年生は英語の時間として活用しています。

15:30



帰りの会

クラスごとに20分間の帰りの会を行います。その後、下校となります。1年生に限り車での送迎が可能です。

16:00頃



AST・ASC・放課後クラブ

AST(学童保育・レプトン)とASC(放課後習い事)、放課後クラブによって子どもたちの放課後を支えています。

お弁当 Lunch box

本校では給食の提供がありません。

子どもたちは毎日、ご家庭で作られた愛情いっぱいのお弁当を持参します。

一方、栽培活動も大切にし、教科学習の中で様々な作物を育てます。

そして育てた作物は収穫後、食材として出荷、

年に2回「『わ』食弁当の日」に

オリジナル弁当としてみんなで味わいます。

思わずはにかむ
食事の時間。



『わ』食
弁当の日
(年2回)



栽培



収穫



『わ』食弁当

お弁当が
用意できない日も安心!

2種類のお弁当注文システム



Lサイズ ごはん180g

Sサイズ ごはん110g

System
1

まとめて1か月分を注文!

なぎさデリカの「えがおごはん」

HERSTORY HOUSE DELI KITCHENとコラボして作る野菜いっぱい、添加物を極力使わない調味料を使用した手作り弁当です。お子様に合わせてご飯や麺の量も選べます。メニューによってはおかずのみ(510円)の注文も可能です。

注文
方法

前月の25日までに一月分をまとめて注文

Webサイトにアップされる月別メニューを見て、注文日を選ぶだけ。
クレジット決済で便利です。

※数量限定ですが、当日朝7時30分までの注文受付も可能です。

料金

Sサイズ 620円(税込) Lサイズ 680円(税込)

System
2

美味しくて栄養満点! のりもと
「ブロッコ紀元」

サンシャイングループが作る、ふたを開けることがお昼の楽しみになるようなお弁当です。

注文
方法

当日の朝8時30分までに
「ツムギノ」注文

料金

470円(税込)



アクセス&セキュリティ Access & Security

子どもたちは様々な地域から通学しています。通学方法も、JR、市電、スクールバスなど多岐に渡ります。

そのため、本校(広島なぎさ中学校・高等学校、広島工業大学高等学校と3校共同運行)では安全に登下校できる仕組みを整えています。※1年生に限り車での送り迎えを許可しています。



在校生 通学地域

■…在校生のいる地域



直行スクールバス停留所

アストラムライン伴駅 → 五日市方面

五日市方面

01 アストラムライン 伴駅

02 アストラムライン 大原駅

03 こころ入口

04 広域公園テニスコート

05 A-city中央

06 アストラムライン 広域公園前

07 五月が丘3丁目

08 そらの北



NAGISA なぎさ公園小学校

Safety and Security

安心・安全の仕組み

「安全カードチェッカー」の導入

全児童が所有するICカードを、正門を入ったところにあるカードリーダーにかざすと、登下校の時間が保護者へメールで届きます。保護者は子どもたちの登下校時刻をリアルタイムで把握でき、欠席連絡等のシステムも組み込まれているため、学校と保護者との密な連携をサポートしています。



集団下校訓練

縦割りの集団下校グループを作り、下校方面別に下校訓練を行っています。新年度、1年生たちも上級生と一緒に、五日市駅などへ下校訓練を始めます。



防災ヘルメット

災害等に備え、子どもたちの机には防災ヘルメットも常備されています。



キッズ携帯

子どもたちの登下校の安全確保の観点から、各家庭の判断でキッズ携帯の所持を認めています。(届け出制)





子どもたちの放課後を「安全」で「充実」した時間にする

ASC 《放課後習い事》

After School Club

子どもたちの強い興味や関心に応える放課後の特別プログラムです。それぞれ実績を積んだ講師陣によって、新しい学びの時間へと発展させます。また校内施設を利用することで、習い事に移動する時間を省き、時間を有効に使えます。※【AST】と【ASC】は併用が可能です。

学納金（経費）

私立小学校の学費は、授業料の他、施設費や教材費、給食費など様々で、それらの金額をすべて公開している学校もあれば、そうでない学校もあります。本校では、保護者の視点に立ち、一貫して学納金（経費）を公開しています。

なぎさ公園小学校の学費（月額）

授業料等	授業料 施設設備資金	40,000円 10,000円	計50,000円
その他の 学納金	教育諸費	(予定)	6,400円
	副教材費・ノート等文具代、実習費、校外学習(自然体験・遠足等)費用、写真代等にあてます(学年により異なります)。		
	なぎさ会費		400円
	PTA活動の諸費用にあてます。 新入生オリエンテーションにて入会金(2,000円)を納入していただきます。		
	児童会費		400円
	児童会活動の諸費用にあてます。		
	宿泊学習積立金		5,000円
	修学旅行等宿泊を伴う学習経費用です。		
《月額合計》(予定)62,200円／《寄付金》なし			

iPad購入について

下記に加えて、入学時にiPadを購入していただきます。学習に必要なアプリの導入および設定、セキュリティなどを一元管理できる点と故障(紛失はのぞく)の負担が0円である点から、学校側が購入元を決めさせていただいております。詳しくは新入生オリエンテーションでご説明しますが、iPad+ケース+修理保証付きセットで80,377円～88,297円(税込)(保証年数によって異なる)となります。

なぎさ公園小学校の初年度経費合計

入学時 納入金	入学手続き金 入学金 施設充実費	70,000円 150,000円 90,000円	計404,600～ 408,600円
なぎさ会	入会金	2,000円	
制服等	男女共通	92,600～ 96,600円	
学費年額		(予定)746,400円	
《初年度経費合計》約1,151,000円～約1,155,000円			

子どもたちの放課後を「安全」で「充実」した時間にする

AST 《学童保育・レプトン》

After School Time

異年齢の仲間と遊び、感じ、学び、体験できる大切な成長の場です。「ただいま!」から始まるわくわくする時間は、全6コースがあります。※【AST】と【ASC】は併用が可能です。



1日の流れ

平日の基本コースの場合
16時頃、下校 「ただいま!」と受付 - おやつ - 宿題・勉強 - 読書・遊び(外遊び) - 月別のテーマに沿ったワークショップ等 - お迎え(最終19:00)

ASTコース一覧

コース名	対 象
基本コース	全学年 (低学年優先)
レプトン(英語教育)併用コース	全学年
レプトン(英語教育)コース	全学年
D(Day)コース	全学年
一時預かりコース	全学年
立哨コース	

ASCコース一覧

	コース名	対 象	内 容
学習プログラム	I・T school	1～6年生	学び続ける力を養う探究・創造・協働型の学習塾「I・T school」のカリキュラムを導入したワークショップ形式の講座です。
	そろばん(初級)	1～6年生	そろばん学習は、自分の頭で考え、指先を使い数的感覚を身につけていきます。記憶力が訓練され計算も速くなり、一生の宝となります。
	ドリーム・プログラミング	3～6年生	問題解決、プレゼンテーション、文章作成など論理的思考を鍛えます。色々なアプリケーションを使ってプログラミングを行います。
情操プログラム	積み木ワークショップ	1、2年生	和久洋三の創造共育(和久メソッド)をベースにしたカリキュラムです。積み木遊びは、算数や数学の基礎形成にとっても大きな役割を果たします。
	HIFA (サッカースクール)	1～6年生	ネイティブスピーカーの英語を肌で感じ、コーチや生徒同士が自然な英語でコミュニケーションを取りながら、楽しく英語とサッカーを学べるスクールです。
	勝ちゲセ。 アスリート育成塾	1～6年生	走る・動く・跳ぶなどの基本動作から、身体の柔らかさ、バランス感覚を養います。これからスポーツを始めたい子、始めた子など、未来の身体の土台を作るクラスです。
	ヴァイオリン	2～6年生	高度に発達した感情=情操を教授するには、楽器の王様であるヴァイオリンが最適。集団レッスンで初級から始めていきます。
	ジムナスト	2～6年生	自分の身体を支えたり、回転しながら体力やバランス感覚を養います。マット、とび箱、鉄棒などを使用します。
	書力(書道)	3～6年生	書道の作法を通じて、落ち着いた心の育成を目指します。また、技術の向上を図り、日本文化や伝統に誇りを持つ心を育てます。
	いけ花	4～6年生	「持ち運べる自然」とも言える、日本の伝統文化のひとつです。「古きを知り新しく創造する」気持ちで花と向き合います。流派は「池の坊」です。



子どもたちの放課後を「安全」で「充実」した時間にする

放課後クラブ

本校には、「合唱クラブ」「ドラム・コー」という2つのクラブ活動があります。合唱クラブは、「第1回全日本小学校合唱コンクール全国大会」で2位の実績を持ち、ドラム・コーも、勇壮な和太鼓演奏が内外で高い評価をいただいております。





OB・OG Message

卒業生の声

—— なぎさ公園小学校での一番の思い出は？



大岩 絞るのは難しいですが、あえて選ぶなら「ピオトープ探検」です。グラウンド横の豊かな自然の中で、泥だらけになってカエルを捕まえたのは最高の思い出です。当時はカエル捕りの才能があったのか(笑)、みんなに「すごい!」と言われて、ちょっとしたヒーロー気分でした。遊びのように見えますが、実は理科の授業の一環。実際に手で触れ、匂いを感じる学びは、今でも鮮明に記憶に残っています。



河村 私は、児童が自ら立候補して学校や学級運営を担う「匠」の活動です。特に印象深いのは6年生の卒業式。お世話になった先生方に恩返しをしたいと、大岩くんたちとサプライズを企画しました。



大岩 表向きは公式の「卒業までのカウントダウンカレンダー制作」を装いつつ、裏では内緒で、先生方の写真を繋げたメッセージ動画を制作していたんです。



河村 バレないよう空き部屋に集まって作業して。でも実は、教頭先生やICT担当の先生には自分たちで事前に根回しをして、協力を仰いでいたんですよ。



先生 私は全く気づいていませんでした(笑)。当日、卒業式後に体育館に呼び戻されて動画が流れた時は、驚きと感動で涙が止まりませんでしたよ。二人とも動画だけでなく、卒業式の練習自体も「ここができていないから次はこうしよう」と自分たちで仕切っていましたね。あの主体性は、一朝一夕に身についたものではないと感じましたが、それはなぎさのどのような経験から育まれたものだと思いますか。

—— 「主体性」は、どのようにして育まれましたか？



大岩 先生が国語の時間に行っていた「司会型グループ学習」が大きかったと思います。児童が司会や書記、タイムキーパーといった役割に分かれて授業を進めるスタイルです。



河村 ただ授業を受けるだけじゃありません。事前に役割のメンバーが集まり、時間配分などを記した「企画書」を自分たちで作成して、先生にプレゼンしに行くんです。そこでアドバイスをもらって、また練り直して…。



大岩 自分が動かないと何も始まらないという「当事者意識」が6年間で体に染み付きました。仲間が司会のときは、その大変さがわかるからこそ、全員が発言してサポートしようとする。そんな絆も、この学習スタイルから生まれました。



先生 狙い以上の成長を見せてもらったと思っています。皆さんの代は6年生になる直前にコロナ禍で休校を経験しました。当たり前だった日常が奪われた苦境でも、「最高の卒業式にしたい」と自分たちで考え動き出した。あのエネルギーは大人の想像を遥かに超えていましたよ。

自ら考え、仲間と形にする力。

なぎさで育んだ「主体性」が、未来を切り拓く原動力に。

—— 小学校での経験は、現在にどう繋がっていますか？



大岩 現在、高校で生徒会長を務めています。原点は小学校の「匠」や「司会型学習」にあります。文化祭でテレビ番組の内容を模した「未成年の主張」を企画した際、安全面等の懸念から一度は反対されました。でもどうしても実現したくて、解決策を10枚ほどの資料にまとめ、顧問の先生全員に直談判しに行きました。熱意を伝えた結果、先生が「そこまで言うなら」と背中を押してくださり、当日は大いに盛り上がりました。



河村 大岩くんの資料作成能力、小学校から凄かったよね(笑)。私は高1で平和に関する校内の有志団体「COPE」を立ち上げました。平和学習を通じて海外の方と対話する中で、「自分たちに何ができるか」を考えたのがきっかけです。



大岩 河村さんは小学校の時、交換留学でタイにも行っていたよね。



河村 はい。実は家を離れて泊まるのが苦手だったのですが、勇気を出して挑戦したことで世界が一気に広がりました。ホストファミリーとは今も交流があり、昨年也会いに行っただです。『世界中に友達がいれば、戦争なんて起きないはず』という私の平和への思いは、タイでの経験から始まっています。



大岩 僕も小学生の時、ニュージーランドに留学しました。異国の地で一人になり「自分から話さない何も始まらない」と痛感しました。なぎさでの「本物の体験」があったからこそ、今の私たちがいるんだと思います。



—— 後輩たち、そしてこれから入学を考える方へメッセージを



大岩 なぎさには学びの素材があちこちに転がっています。ピオトープも、グラウンドのきれいな芝生も、先生との対話も。一見勉強とは無関係に見えても、将来壁にぶつかった時に自分を支えてくれる「知恵」になります。



河村 なぎさは、子どもの可能性を絶対に否定しない場所です。間違ったことを言っても先生方はまず認めてくださいます。その「安心感」があるから、失敗を恐れずに挑戦できました。ワクワクする気持ちを大切に、可能性を広げてほしいです。



先生 二人を見てみると、教員という仕事の醍醐味を感じます。私が教えた以上に自ら学び、遅しく成長してくれました。なぎさには他にはない「一生モノの体験」が待っています。知的好奇心を爆発させて、私たち教員を追い越していくような子どもたちに、ぜひ仲間入りしてほしいですね。



左から

おおしいわ たく お 大岩 拓雄くん なぎさ公園小学校 2021年3月卒業 広島なぎさ高等学校 3年生
かわむら はのん 河村 波音さん なぎさ公園小学校 2021年3月卒業 広島なぎさ高等学校 3年生
いし い まさひで 石井 聖英先生 なぎさ公園小学校 教諭 大岩くん・河村さんの高学年時の担任・学年主任を務める。現在は小学校3年生学年主任。